

消費税増税等で家計負担増加、リサイクル部品は時代が求める商品です！

この4月より、消費税が5%から8%に増税、また医療費の増額、年金減額、光熱費値上げ等で家計負担は一気に増加します。自動車ユーザーにとっては、ガソリン価格の高騰、これは消費税に加え、段階的に引き上げられている地球温暖化対策税(環境税)も上がる「ダブル増税」となり、ガソリン1リットルあたり約5円の値上げ、また高速道路ETC割引廃止・縮小など、ユーザー負担増加となります。



このような家計負担増加の中、自動車ユーザーにとっては、「自動車の修理代を安くしたい」というニーズは高まり、「リサイクルパーツ」利用拡大が見込まれます。また、地球温暖化対策税への認知度も上がり、環境問題も金銭で負担する自覚が広がり、環境対策も経済的視点からその必要性の認知度が向上すると思われまます。

「リサイクル部品」は、経済性、安全性、環境対策、省資源、資源循環、廃棄物抑制など、今後の社会ニーズにマッチした時代が求める商材です。とりわけ、リサイクル部品利用することによる新品部品と比較したCO2削減効果を数値化した「グリーンポイントシステム」の重要性は、今後更に高まるでしょう。単に「環境に優しい」だけではなく、具体的なCO2削減効果数値を自動車ユーザーにアピールし、リサイクル部品の認知度向上により、需要拡大につなげていきましょう。

損保協会のホームページに特設ページ開設、グリーンポイントを詳しく紹介！



一般社団法人 日本損害保険協会のホームページに環境問題への取り組みとして「リサイクル部品活用推進」特設ページが新たに開設されましたので是非ご覧ください。下記URLをご参照願います。

<http://recycle-parts-suishin.jp/index.html>

2013年年度のCO2削減効果集計結果

12団体		2013年累計
販売点数	中古部品	3,097,484 (101.1)
	リビルド部品	475,969 (97.1)
	合計	3,573,453 (100.5)
グリーンポイント CO2削減効果数値	kg-co2	141,752,373
	t-CO2	141,752

2013年1年間のリサイクル部品活用におけるCO2削減効果数値は、141,752トン-co2となりました。これは、ガソリン消費の約6,163万ℓ分、樹齢50年スギの木、約1,012万本の年間CO2吸収量に匹敵します。

※左記の販売点数は、同業者間を除く整備事業者などへ販売した点数で、NGP・SPN・JAPRA・JTPの各システムより提供いただき、集計した数値です。※()は前年比